

研究方法論

必修

開講年次：3年次後期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：看護学と看護臨床における研究の意義、研究の概念、研究の方法論と基本的なステップを学修します。また、文献検索の実際を体験的に学修し、先行研究の活用方法を修得します。学修過程を通して、卒業研究に必要とされる基礎的な能力、態度、および倫理観を養うことをめざします。

■**到達目標**：①看護学と看護臨床における研究の意義、研究の概念、研究の方法論と基本的なステップについて説明できる。
②関心のある看護研究課題について文献検索を行い、文献レビューを作成できる。
③関心のある看護研究課題について研究計画書の作成を試み、理論的文脈を推敲する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎貝谷 敏子・松浦 和代・神島 滋子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 看護研究の意義と動向、研究倫理と研究者の責務
- 第2回 看護研究の概要—基本的なステップ
- 第3回 研究疑問と研究課題（演習）
- 第4回 文献検索の実際（講義）
- 第5回 文献検索の実際（演習）
- 第6回 批判的リーディング・レビューマトリックスの作成
- 第7回 研究計画の立て方（1） 看護研究における概念枠組みと研究デザイン
- 第8回 研究計画の立て方（2） 研究デザインに基づく研究方法の選択
- 第9回 量的研究の概念枠組みの作成*グループ演習
- 第10回 量的研究の概念枠組みの作成*グループ演習
- 第11回 質的分析手法*グループ演習
- 第12回 質的分析手法*グループ演習
- 第13回 研究計画書の推敲と理科系の作文技術
- 第14回 模擬指導
- 第15回 研究結果の解釈、報告書の作成とプレゼンテーション

■**教科書**：小笠原知枝・松木光子編『これからの看護研究—基礎と応用』第3版（ヌーヴェルヒロカワ）

■**参考文献**：

研究方法全般：

- 南裕子編（2008）. 看護における研究. 日本看護協会出版会.
- D.F.ポーリット&B.P.ハングレー『看護研究 原理と方法』（医学書院）
- N.バーンズ&S.K.グローブ『バーンズ&グローブ看護研究入門』（エルゼビア・ジャパン）
- S.B.Hulley『医学的研究のデザイン』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
課題レポート	◎	◎	◎	講義内容の理解 レポートはルーブリックで評価	70
授業態度	○	○	○	積極的な学修姿勢	30
出席				2/3以上の出席	失格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：情報リテラシーI・II、卒業研究

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：卒業研究に連動する科目です。研究活動に対する皆さんの関心と自主性が高まることを期待しています。